

Xcodeをアップデートした後にgccコマンドを使うと、次のようなメッセージが出るかもしれない。

```
Agreeing to the Xcode/iOS license requires admin privileges, please re-run as root via sudo.
```

これは、Xcodeのライセンス条件に変更があったため同意をする必要があることを言っている。対応としてはXcodeを起動して同意するボタンを押せばよいはずであるが、ここではメッセージに出たとおり「re-run as root via sudo」の方法を説明する。

「root」とは、UNIXにおけるすべての管理権限をもつユーザのことである（スーパーユーザsuper userと呼ばれる）。最近のOSXではセキュリティの都合でrootユーザとしてログインすることができないなどの制約が設けられているが、rootの権限でコマンドを実行するためのsudoコマンド（SUper userとしてコマンドを実行DOする→sudo）は使うことができる。

sudoコマンドの実行方法は次の通り：

```
$ sudo (実行したいコマンド)
```

つまり、通常のコマンドの前にsudoと付け加えればよい。上記のメッセージでは「please re-run」と言っているので、先ほど実行しようとしたgccでコンパイルしようとしたコマンドに、sudo をつけてやる。

```
$ sudo gcc hogehoge.c
```

すると、パスワードを聞いてくるので、Macのパスワードを入力する。

```
You have not agreed to the Xcode license agreements. You must agree to both license agreements below in order to use Xcode.
```

```
Hit the Enter key to view the license agreements at '/Applications/Xcode.app/Contents/Resources/English.lproj/License.rtf'
```

とか言ってくるので、書いてあるとおりEnterキーを叩く(Hit the Enter key to view …)。するとライセンス条件が表示されるので、一通り読んで（読んだ気になって）、qを押す（moreコマンドを終了させる）。すると

```
By typing 'agree' you are agreeing to the terms of the software license agreements. Type 'print' to print them or anything else to cancel, [agree, print, cancel]
```

と出るので、条件をOKするなら（しないとどうしようもないので）言われたとおりagreeとタイプしてEnterキーを押す。最後にライセンス条件の文章の確認の仕方のメッセージが表示されておしまい。

なお、sudoをつけてコンパイルしてできた実行ファイルは所有者がrootになってしまい、そのままでは消すことができない。消したい場合はrmコマンドにsudoを付けて実行する。